



高松地方気象台長挨拶



高松地方気象台ホームページをご覧くださいありがとうございます。

台長の若山晶彦（わかやまあきひこ）です。
どうぞよろしくお願いいたします。

香川県は、比較的温暖で年間を通じて雨が少なく日照時間数が多い気候特性をもっていますので、過去には渇水に見舞われることが多くありました。その一方で、台風や梅雨前線による大雨に見舞われることも少なくなく、平成 16 年には台風第 16 号や第 23 号など 9 個の相次ぐ台風により、死者が 19 名、全半壊の家屋が 122 棟、高潮等による床上浸水が 10,000 棟を超えるなど、大きな被害がありました。

また、香川県は、比較的地震の少ない地域ですが、これまで四国沖の南海トラフ沿いを震源とする巨大地震による強い揺れや津波により、家屋の倒壊、堤防の決壊、大規模な浸水等の被害が発生しています。

高松地方気象台は、香川県を対象とした府県予報業務、四国地方を対象とした地方予報中核業務並びに瀬戸内海及び四国沖の海上予警報業務を担当しています。

大雨や、地震・津波などの際に、県内の被害を少しでも軽減できるよう、的確な防災気象情報の発表に努めるとともに、関係機関と協力し、いざというときに役立つ気象台、信頼される気象台であるよう努力してまいります。

なお、高松地方気象台は、これまでの高松市伏石町から、昨年 11 月に高松サポート合同庁舎へ移転し、引き続き業務を行っています。

平成 30 年 4 月

高松地方気象台長 若山 晶彦